

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel:0120-232-711(通話料無料)
上場市場	大阪証券取引所JASDAQ市場
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL <a href="http://www.lac.co.jp/">http://www.lac.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### 単元未満株式の買増・買取請求について

単元未満株式(当社の場合、100株に満たない株式)を所有される株主様には、単元未満株式の買増・買取の2つの制度がございます。株主様のご所有状況に合わせてご利用ください。

#### ●買増制度

お手元の単元未満株式と合わせて1単元(100株)となるように、当社に対して単元未満株式の売り渡しを請求できる制度。

#### ●買取制度

お手元の単元未満株式を、当社に対して時価でご売却いただける制度。

具体的なお手続きにつきましては、証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社等にお問合せください。

また、特別口座に記録されている株主様は、株主名簿管理人連絡先へお問合せください。

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、右記の方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。

ご回答いただいた方の中から抽選で  
薄謝(図書カード 500 円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp/>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ「e-株主リサーチ事務局」TEL：03-5777-3900(平日 10：00～17：30) MAIL：info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

●アンケート実施期間は、本報告書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 3857

いいかぶ

検索



空メールにより URL 自動返信  へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用の URL が直ちに自動返信されます。

## 株式会社ラック

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー  
<http://www.lac.co.jp/>  
(お問合せ) 広報部 Tel：03-6757-0107 E-mail：ir@lac.co.jp



ミックス  
責任ある水産資源を  
使用した紙  
FSC® C013080

Business Report Vol.9



安心とともに

# Business Report

## 第5期 年次報告書

2011.4.1～2012.3.31

## 株式会社ラック

証券コード：3857

2012年4月1日、  
新生LACがスタートいたしました。



ブランドスローガン

「安心とともに」

高度なセキュリティ技術と誠実な対応により、お客様のビジネス発展に貢献することで、安心とともにラックもお客様も、そして社会も成長していくという、新生ラックとしてのありたい姿を表現しています。そしてそれは、セキュリティ業界のリーディングカンパニーとして、ITインフラの安心・安全を支える存在であることの使命感を持ち、常に熱意を持って安心と向き合う企業姿勢の現れでもあります。また、研究開発やセキュリティ監視センター等による先進性を兼ね備えた姿が、新生ラックとしての目指すべき姿です。

ごあいさつ  
Top Message



代表取締役社長 高梨 輝彦

株主ならびに投資家の皆様には、平素より格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は本年4月1日付で完全子会社3社を吸収合併、社名を株式会社ラックと変更し、新たにスタートいたしました。

私はこのたび代表取締役社長に就任し、昨年11月に逝去された当社創業者である三柴元会長の遺志と、経営統合を成功させた米田前社長の思いを受け継ぎ、ラックグループの舵取りを担うこととなりました。第5期年次報告書をお送りするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期における情報サービス業界は、企業のIT投資は引き続き抑制傾向にあり厳しい環境でありました

が、その一方で情報セキュリティ対策や災害対策など「BCP(事業継続計画)」分野への戦略的投資やクラウドサービス、スマートフォン、ソーシャルネットワークワーキングサービス(SNS)など新たな分野への投資は拡大しました。

このようななか、当社グループは役職員が一丸となり、「強い会社 創成」をテーマに掲げ、提供サービスの選択と集中、ワンストップソリューションの共同提案の推進、要員の適正配置による間接部門の効率化、上海ラックの業容拡大、A種優先株式の一部取得および消却による財務体質の改善など、投資とその活用を再点検し、これまで以上に経営の効率化を図ってまいりました。

このたびの経営統合と新体制のスタートを契機に、一元化した顧客基盤を活用し、お客様に必要とされる最適なワンストップソリューションの提供、コストの適正化による収益構造の改革、セキュリティなど成長分野への経営資源の最適配分、機動的な組織運営と効率的な業務運営など総合力を活かした経営に積極的に取り組み、更なる競争力の強化と収益力の向上を図っていく所存であります。

株主ならびに投資家の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2012年6月

第5期決算ハイライト Financial Highlights

■売上高 31,595百万円  
(前期比5.4%減) ↓

■営業利益 1,895百万円  
(前期比27.2%増) ↑

■経常利益 1,672百万円  
(前期比28.6%増) ↑

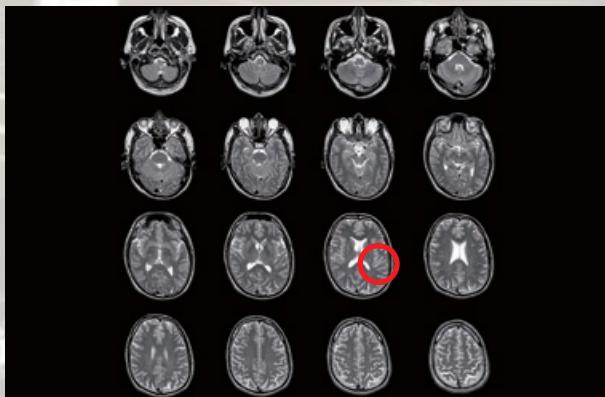
■当期純利益 660百万円  
(前期比22.4%減) ↓

■EBITDA 3,071百万円  
(前期比10.4%増) ↑

## 特集 サイバー攻撃を見つけ出すプロフェッショナル集団「JSOC」

24時間365日、情報漏えいに繋がるサイバー攻撃を一切の妥協無く監視し続けているプロフェッショナル集団。それがラックの誇るJSOCです。

### MRI画像から患部を見つけ出す医師のように…



JSOCのプロフェッショナル達がサイバー攻撃を発見する様は、医師がMRI画像から患部を特定する診断に似ています。医師は、プロフェッショナルだけが持つ観察眼で病巣の兆候を見つけ出しています。

### 監視センサーから脅威を見つけ出すJSOC



JSOCは日々膨大なネットワーク通信の中から、たった数文字や数行で行われることもあるサイバー攻撃を見つけ出します。彼らは医師同様一切の妥協無く、お客様のネットワークを監視しています。

ジェイソック  
JSOC (Japan Security Operation Centerの略)

### JSOCの根幹を担うセキュリティアナリスト

JSOCでは、お客様環境に重大な影響を与えうる脅威だけを、わずか15分以内に対策とともにお知らせすることをSLA (Service Level Agreement: サービス品質に関する契約) で保証しています。こうしたサイバー

攻撃による脅威の早期発見・警戒を実現しているのが、脅威検出のプロフェッショナル「セキュリティアナリスト」達です。

彼らは監視センサーの運用エンジニアとして数年の実績を経た後、平均3年から5年にわたって脅威分析の実戦訓練を積みみます。その中でも特に正確で迅速な対処ができる人材だけがシニアセキュリティアナリストとなり、JSOCのより高精度な脅威検出を進化させていくミッションを背負っていきます。

見えないサイバー攻撃の脅威からお客様を解放し、安心とともに事業継続を図っていただくため、今日も彼らは情報セキュリティの最前線で戦っています。



### すべてはお客様の「安心」のために

ラックはお客様のセキュリティ・パートナーとして選ばれるために、「今、情報セキュリティの世界では何が起きているのか」に徹底的にこだわっています。最新の情報と、これまでの実績により蓄積してきたノウハウを駆使し、お客様の情報資産をセキュリティの脅威から、24時間365日守り続けます。

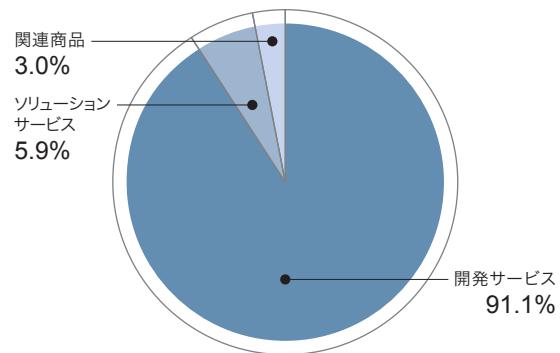
## SIS事業(システムインテグレーションサービス事業)

企業のIT投資が抑制されるなか、継続案件の着実な受注に加え、ビッグデータソリューションやスマートフォン、タブレット端末に関わるシステム開発など新技術への対応による新規案件の創出に取り組みました。売上高は105億87百万円(前期比7.2%減)、セグメント利益はプロジェクトの品質管理の強化や外注費の抑制、内製稼働管理の徹底などにより17億97百万円(同10.5%増)となりました。

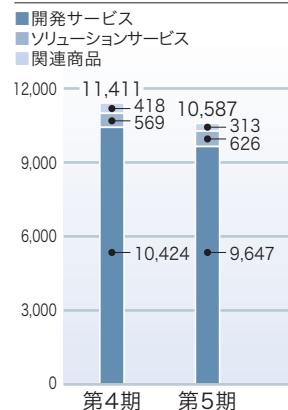
売上高(サービス別)

SIS事業 売上高

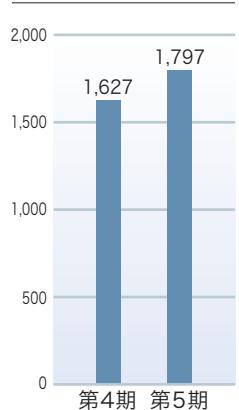
**105億87百万円** 前期比 7.2%減↓



売上高(単位:百万円)



セグメント利益(単位:百万円)



### ●開発サービス

売上高 **96億47百万円** 前期比 7.5%減↓

情報サービス業や製造業向け案件が伸長しましたが、銀行関連案件の開始時期の遅延や案件規模の縮小などが影響し、売上高は96億47百万円(同7.5%減)となりました。

### ●ソリューションサービス

売上高 **6億26百万円** 前期比 10.0%増↑

自治体向けシステム更新案件が寄与するなど堅調に推移し、売上高は6億26百万円(同10.0%増)となりました。

### ●関連商品

売上高 **3億13百万円** 前期比 24.9%減↓

インフラ構築にともなう新規製品販売が減少し、売上高は3億13百万円(同24.9%減)となりました。

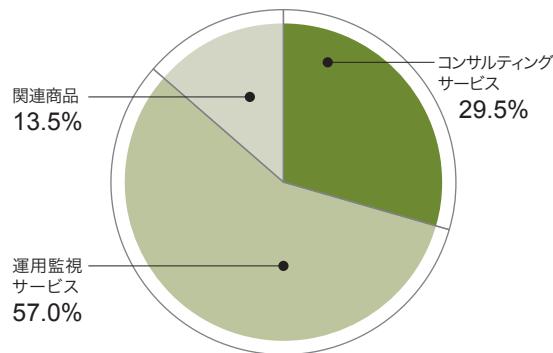
## SSS事業(セキュリティソリューションサービス事業)

大規模な個人情報漏えい事件や標的型メールによるサイバー攻撃が後を絶たないなか、標的型メール攻撃対策など社会ニーズに合ったサービスの提供や監視サービス、診断サービス、常駐型サービスなどヘリソースを集中し、戦略的に高収益率のサービス提供に取り組みました。売上高は51億81百万円(前期比8.8%増)、セグメント利益は11億4百万円(55.6%増)となりました。

売上高(サービス別)

SSS事業 売上高

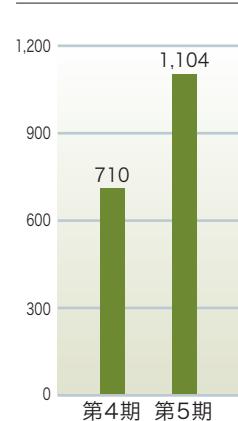
**51億81百万円** 前期比 8.8%増↑



売上高(単位:百万円)



セグメント利益(単位:百万円)



### ●コンサルティングサービス

売上高 **15億28百万円** 前期比 3.1%増↑

緊急対応にともなうコンサルティング案件やセキュリティ教育案件が増加し、売上高は15億28百万円(同3.1%増)となりました。

### ●運用監視サービス

売上高 **29億53百万円** 前期比 20.1%増↑

診断サービスや監視サービスの新規受注が堅調に推移したことに加え、不正アクセスや情報漏えい発生時にその侵入の痕跡調査などを行うフォレンジック案件も増加し、売上高は29億53百万円(同20.1%増)となりました。

### ●関連商品

売上高 **6億99百万円** 前期比 14.7%減↓

提供するサービスに付随する商品やその保守の販売に絞り込んだことにより、売上高は6億99百万円(同14.7%減)となりました。

※構築サービスは、当期より監視サービスに関連する案件の取り扱いに限定するため、運用監視サービスに含めております。

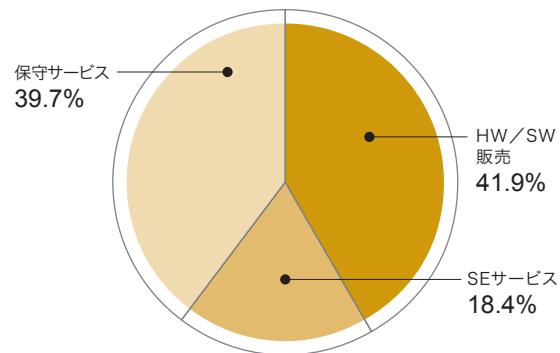
## ディーラー事業

引き続き非金融業界への取引拡大を図るとともに、クラウドサービスやビッグデータソリューションなど新たな市場に向け、製品、ソリューション、システム構築をワンストップで提供する営業活動に取り組みました。売上高は158億25百万円(前期比8.2%減)、セグメント利益は8億30百万円(同18.7%減)となりました。

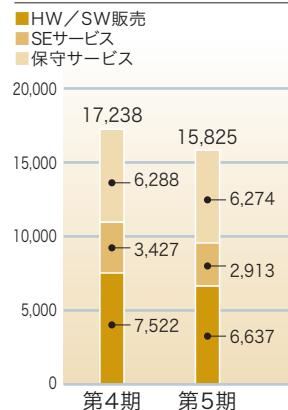
売上高(サービス別)

ディーラー事業 売上高

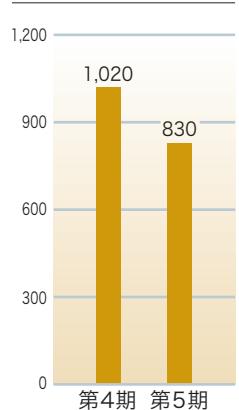
158億25百万円 前期比 8.2%減 ↓



売上高(単位:百万円)



セグメント利益(単位:百万円)



### ● HW/SW販売

売上高 66億37百万円 前期比 11.8%減 ↓

サービス業を中心とした非金融業向けの案件が堅調に伸びましたが、主力の銀行や官公庁向けなどで見込んでいた大型案件の受注遅れや失注などにより、売上高は66億37百万円(同11.8%減)となりました。

### ● SEサービス

売上高 29億13百万円 前期比 15.0%減 ↓

HW/SW販売の低迷から新規案件の受注が低調だったことに加え、継続案件において要員削減や単価引き下げの要請なども影響し、売上高は29億13百万円(同15.0%減)となりました。

### ● 保守サービス

売上高 62億74百万円 前期比 0.2%減 ↓

新規案件の獲得に努めましたが、価格低減要請や対象製品の絞込みなどにより契約更新・維持が減少し、売上高は62億74百万円(同0.2%減)となりました。

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期末 2012年3月31日現在	前期末 2011年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	10,825	10,564
固定資産	8,574	9,578
有形固定資産	1,169	1,241
無形固定資産	4,504	4,790
投資その他の資産	2,900	3,547
<b>資産合計</b>	<b>19,399</b>	<b>20,143</b>
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	8,246	7,594
固定負債	4,643	5,303
<b>負債合計</b>	<b>12,890</b>	<b>12,898</b>
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	6,551	7,283
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,646	5,675
利益剰余金	1,236	975
自己株式	△ 331	△ 368
その他の包括利益累計額	△ 52	△ 51
少数株主持分	10	12
<b>純資産合計</b>	<b>6,509</b>	<b>7,245</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>19,399</b>	<b>20,143</b>

### 連結貸借対照表のポイント

#### 資産

前払費用等の増加やソフトウェアの増加があった一方で、のれんの減少、繰延税金資産(固定)の減少などにより、193億99百万円(前期末比7億43百万円減)となりました。

#### 負債

リース債務の減少や社債の減少などがあった一方で、1年内返済予定の長期借入金の増加や前受収益の増加などにより、128億90百万円(同7百万円減)となりました。

#### 純資産

優先株式の取得及び消却による資本剰余金の減少などがあった一方で、当期純利益の計上などによる利益剰余金の増加などにより、65億9百万円(同7億35百万円減)となりました。

### 主要経営指標

	当期	前期
自己資本比率(%)	33.5	35.9
時価ベースの自己資本比率(%)	66.7	27.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	299.6	322.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	19.9	15.2
EBITDA(百万円)	3,071	2,781

※自己資本比率:自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率:株式時価総額/総資産  
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率:有利子負債/営業キャッシュ・フロー  
 インタレスト・カバレッジ・レシオ:営業キャッシュ・フロー/利払い  
 EBITDA:営業利益+減価償却費+のれん償却額

連結損益計算書(要旨)

科目	(単位:百万円)	
	当期 自 2011年4月 1日 至 2012年3月31日	前期 自 2010年4月 1日 至 2011年3月31日
<b>売上高</b>	<b>31,595</b>	<b>33,413</b>
売上原価	24,563	26,379
売上総利益	7,032	7,033
販売費及び一般管理費	5,137	5,543
<b>営業利益</b>	<b>1,895</b>	<b>1,489</b>
営業外収益	32	57
営業外費用	255	245
<b>経常利益</b>	<b>1,672</b>	<b>1,301</b>
特別利益	8	381
特別損失	87	360
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>1,594</b>	<b>1,321</b>
法人税、住民税及び事業税	487	498
法人税等調整額	446	△ 32
少数株主損益調整前当期純利益	660	855
少数株主利益又は損失(△)	△ 0	4
<b>当期純利益</b>	<b>660</b>	<b>851</b>

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	(単位:百万円)	
	当期 自 2011年4月 1日 至 2012年3月31日	前期 自 2010年4月 1日 至 2011年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	2,355	2,244
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 841	962
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,491	△ 2,586
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 3	△ 11
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少額)	18	609
現金及び現金同等物の 期首残高	2,984	2,375
現金及び現金同等物の 期末残高	3,003	2,984

連結株主資本等変動計算書 当期 (自 2011年4月1日 至 2012年3月31日)

	株主資本					その他の包括利益 累計額	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
2011年4月1日残高	1,000	5,675	975	△ 368	7,283	△ 51	12	7,245
当期中の変動額								
剰余金の配当			△ 399		△ 399			△ 399
当期純利益			660		660			660
自己株式の取得				△ 1,024	△ 1,024			△ 1,024
自己株式の処分		△ 6		38	31			31
自己株式の消却		△ 1,022		1,022	—			—
株主資本以外の項目の当期中の変動額(純額)						△ 1	△ 2	△ 3
当期中の変動額合計	—	△ 1,029	260	36	△ 731	△ 1	△ 2	△ 735
2012年3月31日残高	1,000	4,646	1,236	△ 331	6,551	△ 52	10	6,509

会社概要(2012年6月22日現在)

商号	株式会社ラック
英文名	LAC Co., Ltd.
所在地	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー 電話 (03) 6757-0100 (代表)
設立	2007年10月1日
資本金	10億円
従業員数	連結:1,549名 個別:1,221名(2012年4月1日現在)

役員

代表取締役社長	高梨 輝彦
取締役	牧野 敏夫
取締役	中川 孟
取締役	三柴 照和
社外取締役	佐山 展生
社外取締役	上住 甲子郎
社外取締役	林 界宏
常勤監査役	堀内 誠夫
社外監査役	酒井 富雄
社外監査役	網野 猛美
会長	米田 光伸
常務執行役員	英 秀明 山中 茂生 齋藤 理 伊藤 信博
執行役員	怒和 秀昭 肥田木 優 丸山 司郎 倉持 浩明 大野 祐一 槻山 幸司 大貫 大輔 可児 康之 谷口 武 萩原 利彦 秋山陽一郎 鎌田 寿雄 坂本喜代志
専務理事	西本 逸郎

株式の状況(2012年3月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	100,000,000 株	
	A種優先株式	10 株	
発行済株式の総数	普通株式	26,683,120 株	
	A種優先株式	5 株	
株主数	普通株式	6,981 名	
	A種優先株式	1 名	
大株主(普通株式)	氏名または名称	所有株式数(株)	所有比率(%)
	有限会社コスモス	8,000,000	29.98
	KDDI株式会社	1,414,200	5.29
	ラックホールディングス株式会社	1,304,760	4.88
	株式会社ハウスホールディングス	1,300,000	4.87
	ラックホールディングス従業員持株会	891,510	3.34
	三菱商事株式会社	870,000	3.26
	三柴 元	776,900	2.91
	株式会社ユーシン	398,400	1.49
	大阪証券金融株式会社	344,800	1.29
	ランスタッド株式会社	321,000	1.20

※有限会社コスモスは、代表取締役会長三柴 元(故人)の親族が株式を保有する資産管理会社であります。

所有者別株式分布状況(普通株式)

